

## 2019年度卒業時満足度および成長実感に関する分析について

ー 共通学生調査（卒業時調査）2019の結果よりー

IR 推進部会・大学企画室

### 1. 共通学生調査（卒業時調査）2019の概要

・実施時期：2020年1月14日～1月31日 ・実施対象：全学部全学年（内、卒業予定者 687名） ・実施方法：Web アンケートシステム	・有効回答者数：2,888名（内、卒業予定者 601名） ・有効回答率：87.3%（卒業時調査回答率 87.5%）
---	--

※本レポートでは4年生（卒業予定者）の結果についてのみ検討を行った。

### 2. 卒業時の満足度（図1）

「本学の総合的な満足度」…卒業予定者の47.4%が満足以上と回答した  
本学では、授業や研究の内容・環境・施設設備・支援・制度に対して、半数以上の学生が満足度を感じていることが示唆された。

#### （1）設問「あなたは、本学の教育内容・環境にどれくらい満足していますか。」（図2）

・本学の教育内容・環境への満足度調査…12項目中10項目で50%超の学生が「満足以上」と回答

#### （2）設問「あなたは、以下の本学の施設設備にどの程度満足していますか。」（図3）

・図書館、教室、コンピュータ施設、ゼミ・研修室、実験室…50%超の学生が満足  
・「授業外」で利用することの多い施設設備（食堂・売店、交通等）…満足度が低め  
→特に「食堂や売店」、「バスの便など交通施設」に関して、明確な不満感を示している。

#### （3）設問「大学の学生支援・制度への満足を教えてください。」（図4）

・教育に関わる項目（インターネット利便性、コンピュータ訓練援助、教務関係対応）…50%超の学生が満足  
・満足以上が50%を下回る項目（健康・保険、学費援助、キャリア、課外活動）は、利用していない学生が「どちらでもない」と回答している可能性があるため、低満足度と断定することは困難。

### 3. 卒業時の成長実感（図5）

「成長実感」…卒業予定者の70.4%が成長を実感していると回答した  
学士力の中でも知識・理解、汎用的技能、態度・志向性に関係する項目においては70%を超える学生が能力や知識の増加を実感している一方で、（3）のようにグローバル化に適応するための能力の成長がやや弱いことが示唆された。

#### （1）知識と理解力、論理的思考と分析スキル、課題発見とその解決能力（図6）

・図6の通り、多くの学生が成長を実感している。批判的思考力・数理的能力は比較的低め。  
→授業や卒業研修等で実感しやすい項目であることが関係している可能性がある。

#### （2）協調性と適応力、コミュニケーションスキル（図7、図10）

・コミュニケーション系の能力：入学後の人との繋がりの増加から実感している可能性が考えられる。  
・プレゼンテーション系の能力：レポート・卒論・就活等の経験から実感している可能性が考えられる。  
・リーダーシップ能力：アルバイトを中心とした課外活動の経験増が関係している可能性が考えられる。

#### （3）国際理解力と語学力（図8、図11）

・地球的課題、多様な文化、価値観の違いを理解する知識や能力…50%超の学生が成長を実感  
・実際に異文化と交流するための能力…成長実感は比較的低め  
→9割近くの学生に渡航経験がないことが影響している可能性が考えられる。

#### （4）その他（セルフマネジメント力）（図9）

・「時間を効果的に利用する能力」、「卒業後就職するための準備度合い」…70%超が成長を実感

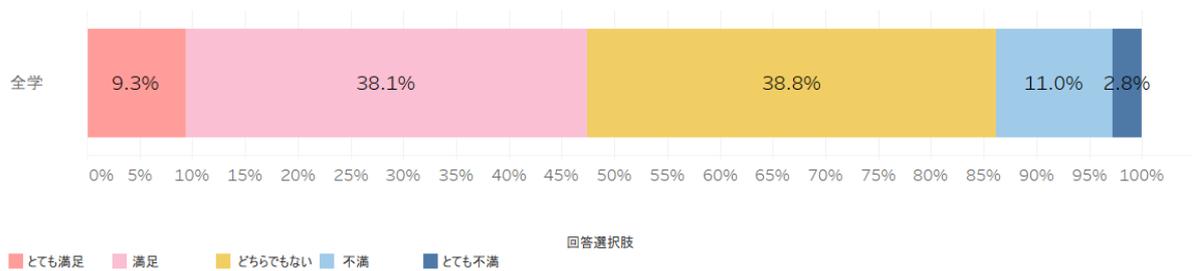


図1 卒業時の総合的な満足度

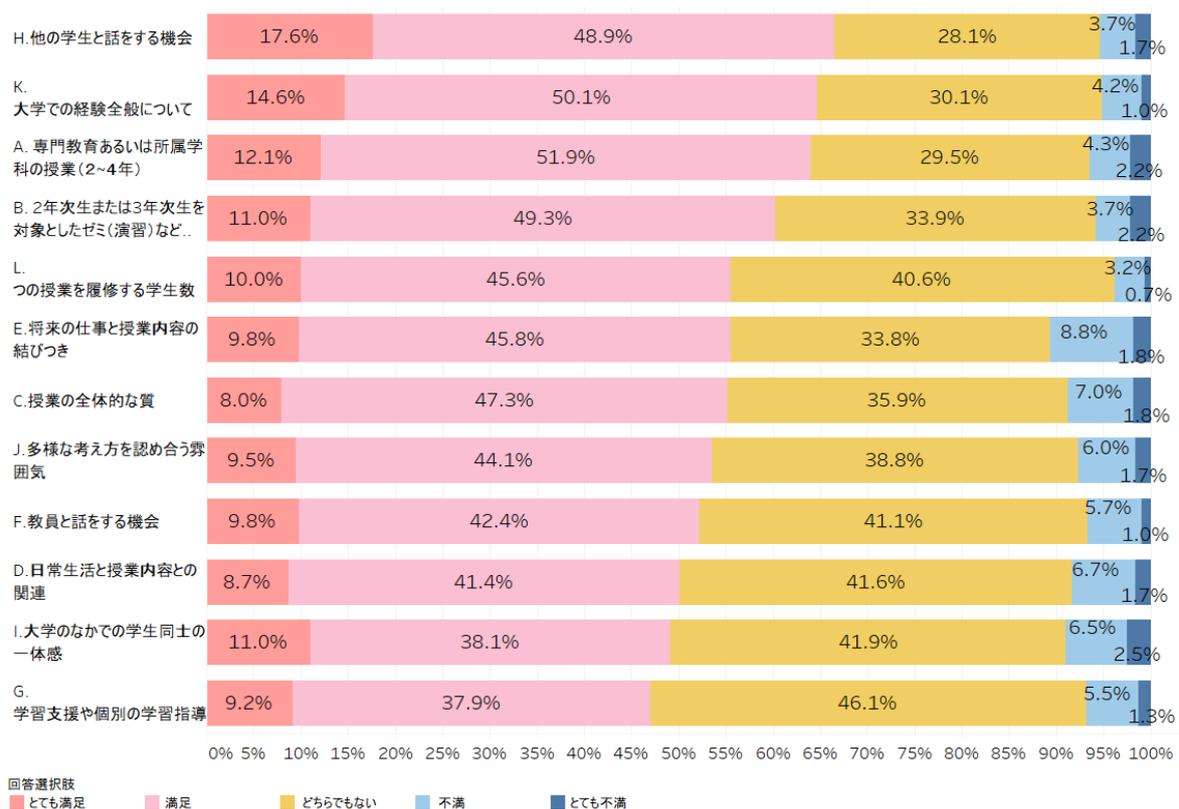


図2 卒業時の教育内容・環境への満足度

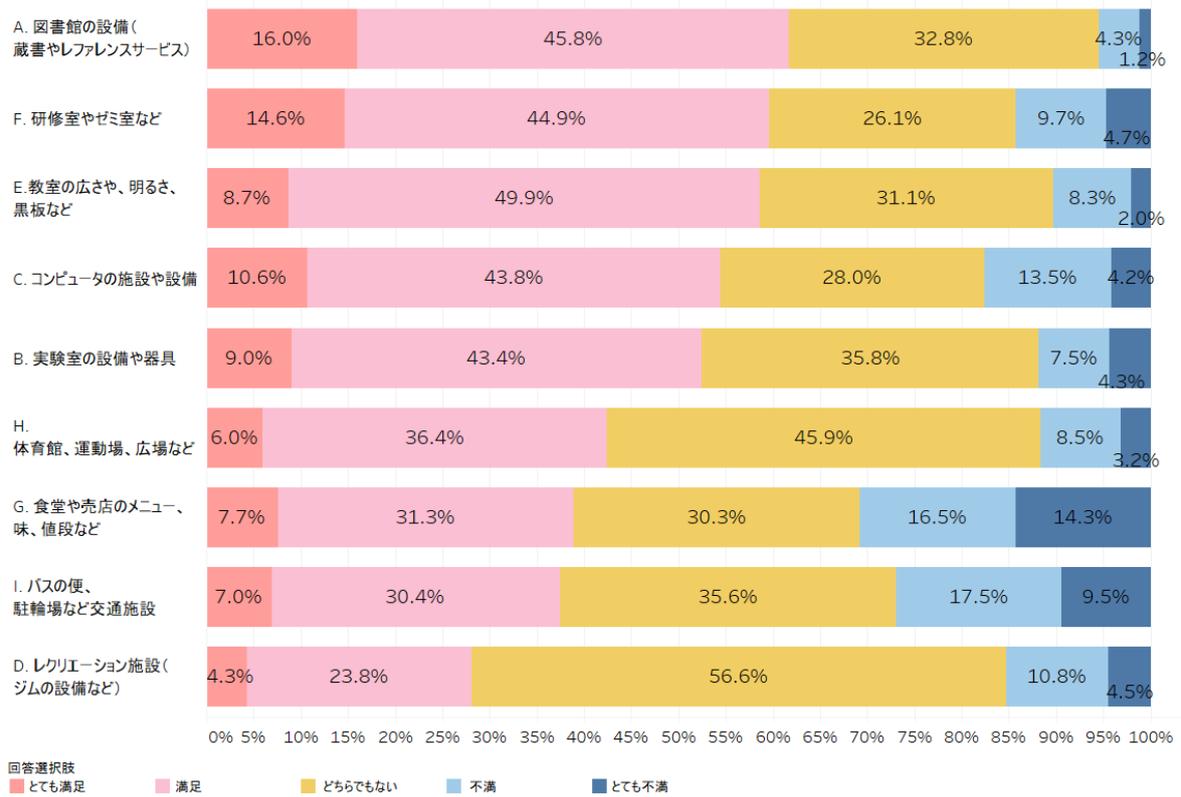


図3 卒業時の施設設備への満足度

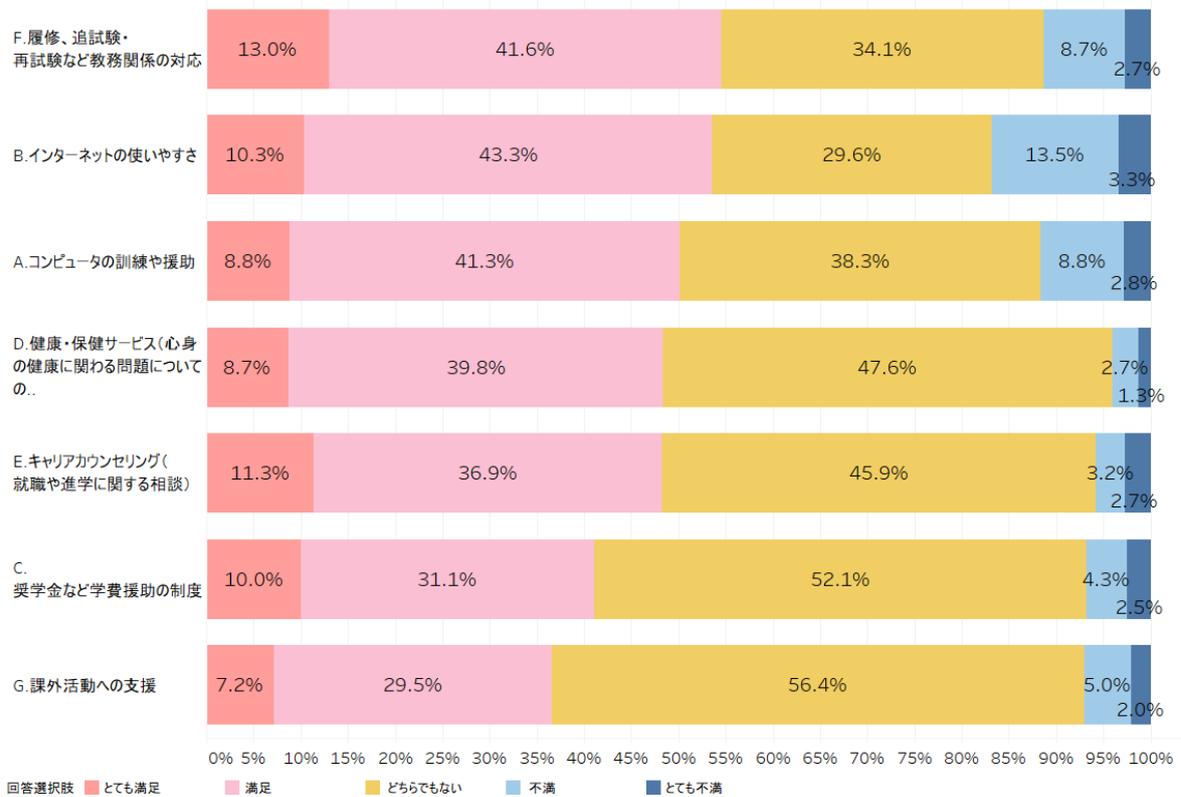


図4 卒業時の学生支援・制度への満足度

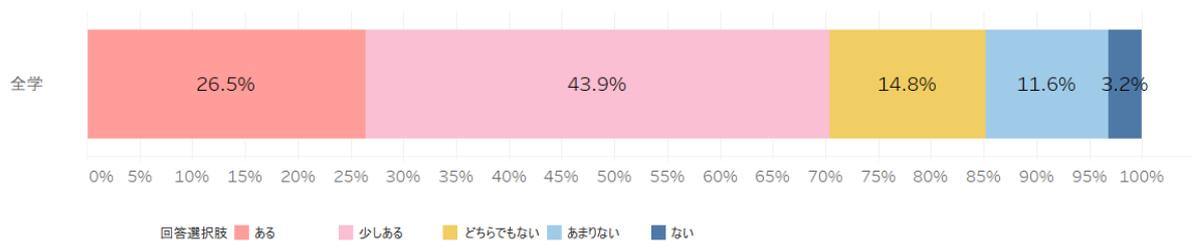


図5 大学生活を振り返ったときの成長実感

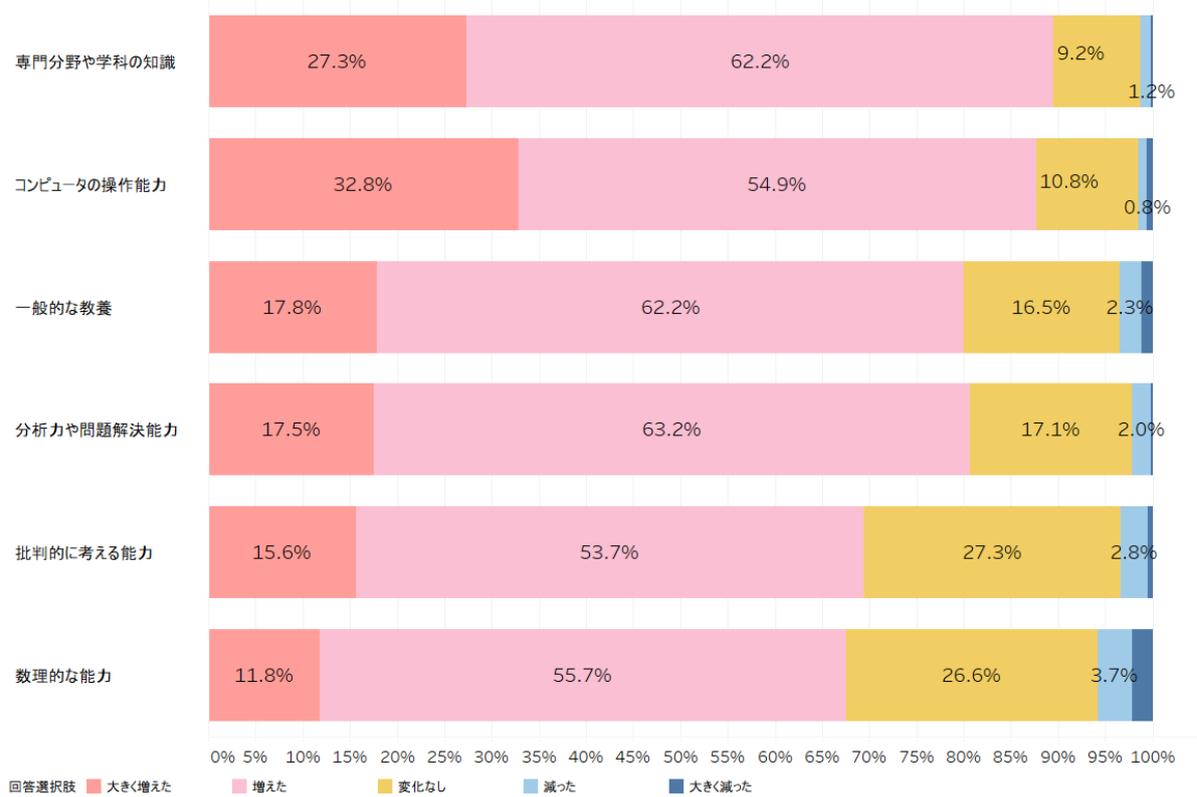


図6 知識と理解力、論理的思考と分析スキル、課題発見とその解決能力に関する成長実感

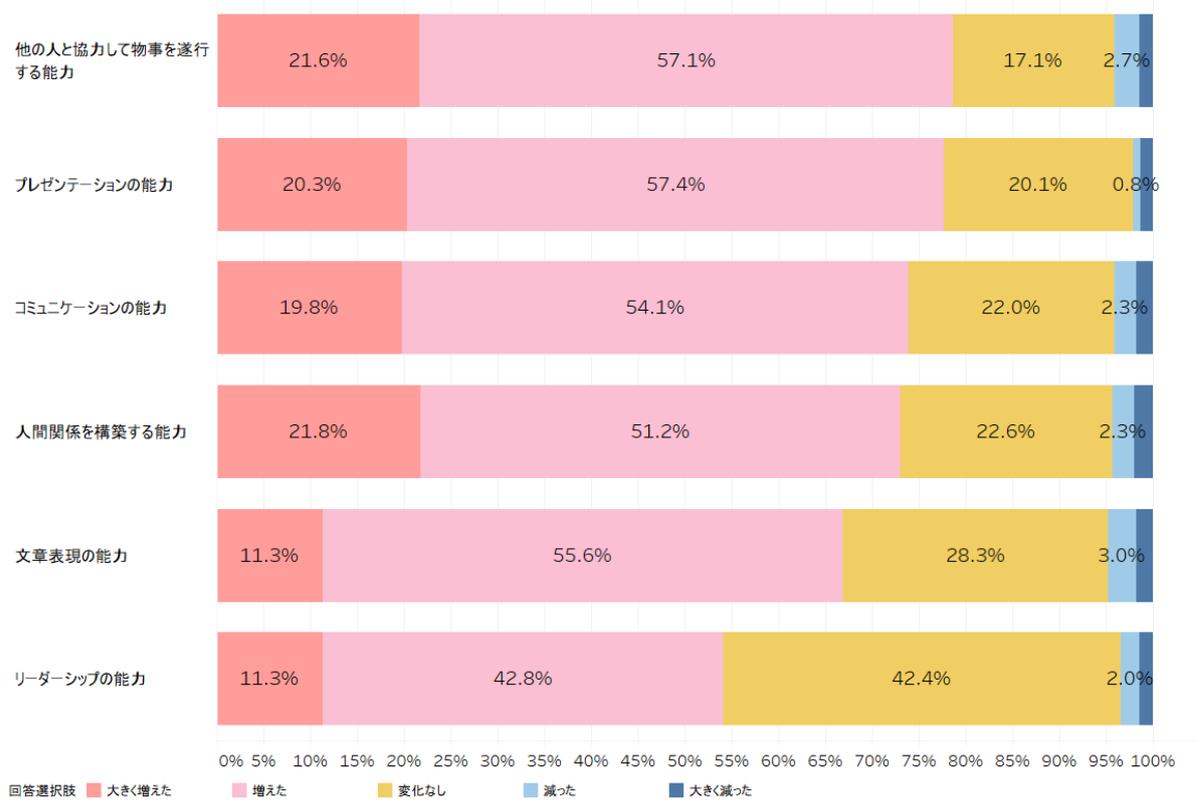


図7 協調性と適応力、コミュニケーションスキルに関する成長実感

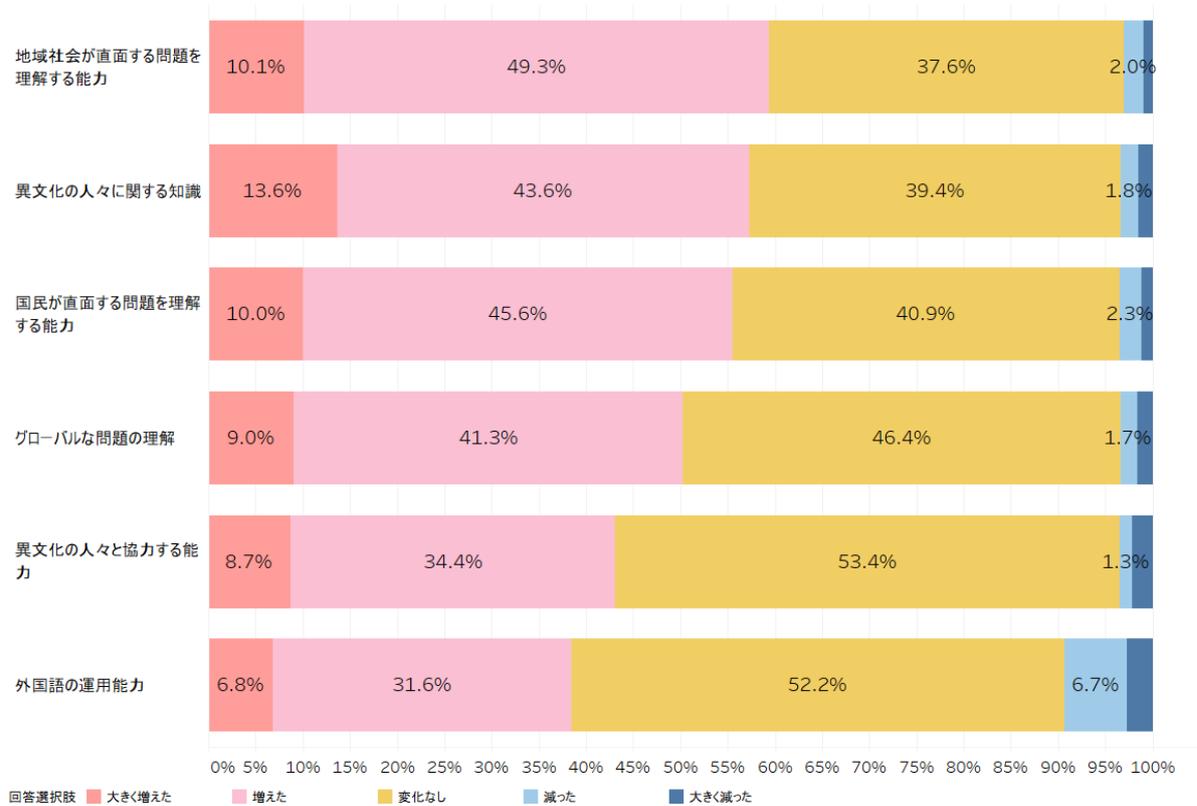


図8 国際理解力と語学力に関する成長実感

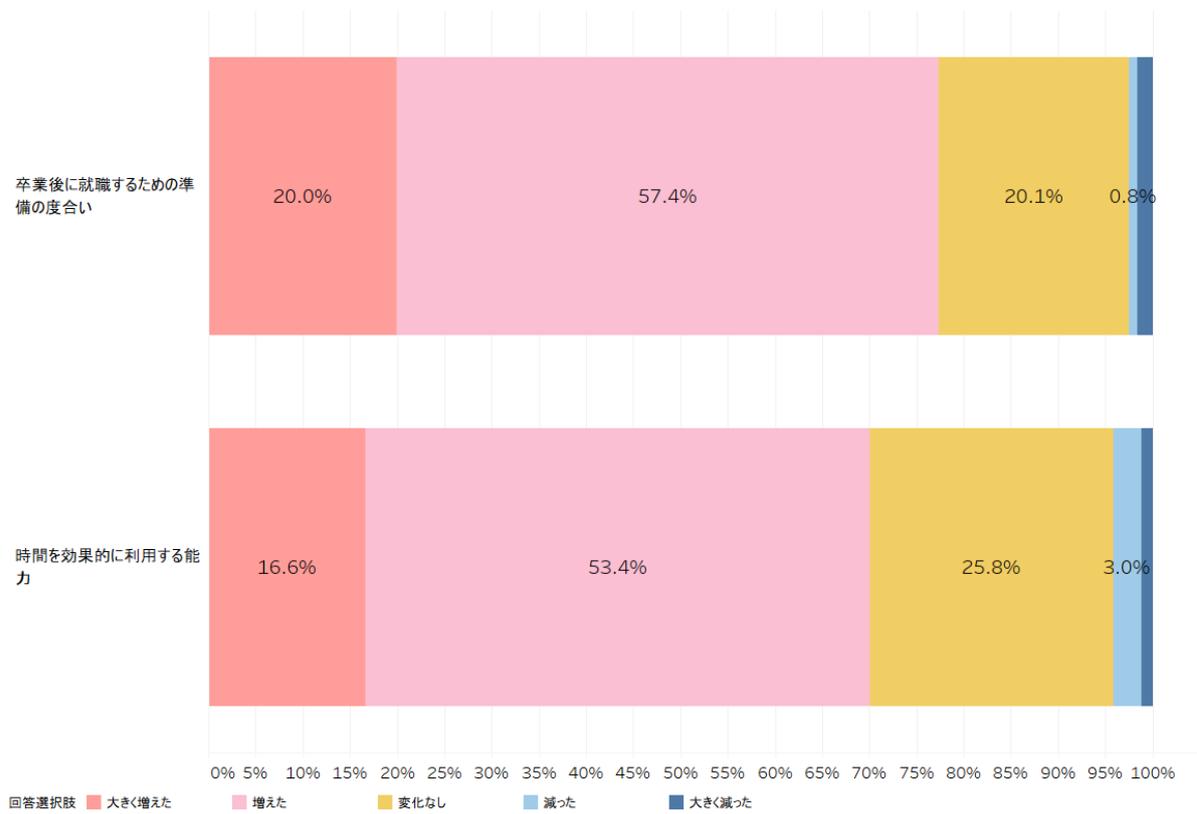


図9 その他（セルフマネジメント力）に関する成長実感

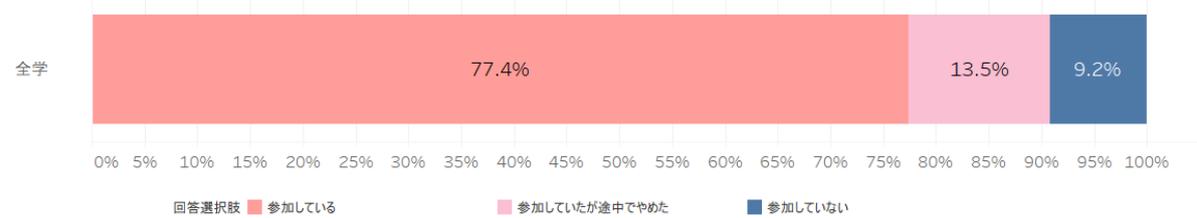


図10 アルバイトの経験

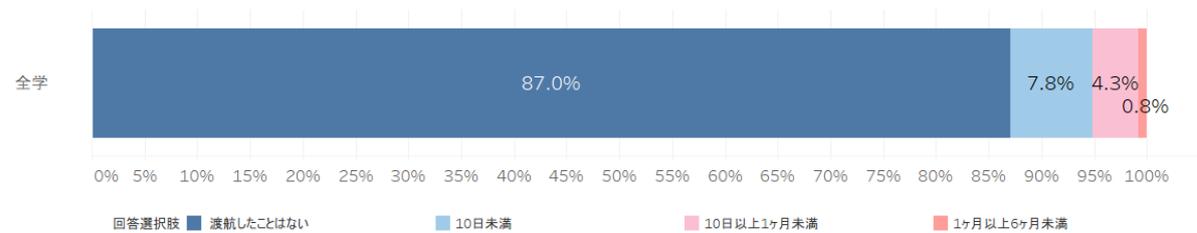


図11 海外への渡航経験（英語圏）